

確定(中間)申告書記入例

令和6年1月1日の区の再編に対応した月割課税を含む記載例となっております。

この記入例は、区再編に伴う法人市民税の均等割の計算方法について(案内文)の①通年課税(浜北区→浜名区、旧天竜区→新天竜区)と②合区による月割り課税(中区、東区→中央区)を組み合わせた例となっております。

ミッションは切り取らないで提出してください

令和6年5月31日		法人番号	0234567891	申告年月日	06年03月31日
所在地		〒430-0948 浜松市中央区元目町120番地の1		この申告の基礎	
押印の必要はなくなりました。		(電話 053-△△△-XXXX)		1.法人税の修正申告の提出による	
法人名		株式会社 浜 第一 商事		2.法人税の更正・決定・再更正による	
代表者氏名		はままつ たろう	てんりゅう はなこ	事業種目	
浜松 太郎		天竜 花子		サービス業	
令和05年04月01日から令和06年03月31日までの		事業年度分又は連結事業年度分		期末現在の資本金の額	
納税標準		50,000,000		100,000,000	
課税標準		50,000,000		100,000,000	
税率		6.0%		100,000,000	
税額		3,000,000		1,000,000	
均等割額		1,050,000		1,037,000	
合計額		4,050,000		2,037,000	

確定申告→50
修正申告→51
中間申告→20

網掛けの欄を記入してください。

本店が市内にあり、支店が市外にある場合は「課税標準の分割に関する明細書」を必ず添付してください。

税率を記入してください。
・令和元年9月30日までの間に開始する事業年度 **9.7%**
・令和元年10月1日から開始する事業年度 **6.0%**

⑦を受ける場合は、下記の書類を添付してください。
・市町村が発行した領収証
・明細書

⑩を受ける場合は、下記の書類を添付してください。
・外国の法人税等の額の控除額に関する明細書

⑬、⑭は中間(予定)申告で納めた税額が記載されています。

⑰は左下「指定都市に申告する場合の⑰の計算」欄の均等割額の合計額を記入してください。

⑳①の人数は事業年度末日の新3区課税での合計人数を記載してください。

課税標準の分割基準に使用する浜松市従業員数⑳①は、市内全区の従業員数の合計です。
※法人税割が算出されない場合でも⑳①、⑳②、⑳③欄は必ず記入してください。

⑰月数は必ず記入してください。

所在地は新区で記載してください。

旧7区課税の従業員数はR5.12.31時点での人数を記載してください。

月数、従業員数、均等割額は必ず記入してください。

9区以上記載する場合は「均等割額の計算に関する明細書(第20号様式別表第4の3)」を使用してください。

区再編に関する注意事項は、赤字で記載しています。

納付書記入例

浜松市中央区元目町120番地の1		株式会社 浜松第一商事	
年度	06	管理番号	0234567891
申告区分	5.4.1	申告区分	6.3.31
法人税割額01	998700	均等割額02	105000
合計額05	¥1103700		

管理番号を必ず記入してください。

事業年度の記入と該当する申告区分に「○」を記入して下さい。

見込み納付の場合は申告区分「その他」に「○」を記入し、「見込」と記入してください。

法人税割額(⑰の金額)、均等割額(⑱の金額)と合計額(㉑の金額)を記入してください。

先頭に「¥」を付けてください。

合併して消滅した法人の場合は、消滅した法人の名称、管理番号、事業年度を記入してください。

電子申告の場合、訂正通知のメールを送らせていただくことがありますので、ご了承ください。